

宗教センターだより

幼稚園より

- ファミリーデー 6/1 土
- 終業礼拝 7/12 金
- 始業礼拝 9/4 水
- おじいさまあばあさまと一緒に過ごす会 9/20 金
- 収穫感謝礼拝 11/15 金
- 創立記念礼拝(年長児) 11/18 月
- アドヴェント礼拝 I 11/29 金

(教諭 多々内 三恵子)

初等部より

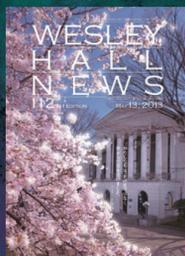
- こどもの日・花の日礼拝 8:25~8:50 初等部米山記念礼拝堂
- 百天者記念礼拝 8:25~8:50 初等部米山記念礼拝堂
- 1年生なかよしキャンプ 7/16, 18 木 Aグループ 18 土 Bグループ
- 教職員退修会(修養会) 8/29, 30 金
- 聖書週間特別礼拝 8:25~8:50 初等部米山記念礼拝堂
- となり人を覚える礼拝 8:25~8:50 初等部米山記念礼拝堂
- 創立記念礼拝 8:25~8:50 初等部米山記念礼拝堂
- 感謝祭礼拝 8:25~8:50 初等部米山記念礼拝堂

(宗教主任 小澤 淳一)

中等部より

- 沖縄平和教育旅行(3年生) 5/28, 31 金
- 学年旅行(2年生) 5/28, 31 金 菅平
- 伝道週間 6/24, 28 金
- 緑蔭キャンプ 7/21, 23 火 高等部追分寮
- CFワーク 8/31 9:30~11:30 校内清掃
- 老人ホーム奉仕(1,2年) 10/25 金 愛隣会白寿荘
- 創立記念礼拝 11/8 金 8:40~9:20

(宗教主任 西田 恵一郎)



表紙写真 開島記念館と満開の桜

シリーズ 地の塩、世の光 file 16

◎ 各界で活躍するクリスチャン



行って、あなたも同じようにしなさい。

10:37 Luke ルカによる福音書10章37節

宮川 眞一

日本キリスト教海外医療協力会(JOCS) パングラデシュ派遣ワーカー・医師

何を如何に、而して何処へ

私はJOCSから派遣され、パングラデシュのチャンドラコーナという町の病院で7年間働き、この度最終帰国しました。この道に進んだのは幼い頃の聖書の箇所「よきサマリヤ人のたとえ」を通して、当時同団体のネパールワーカーだった岩村昇医師より以下の様な話を聞いたからでした。

結核対策のキャラバン中、山の上に住む重篤な患者さんを、村の青年が23日かけて麓の病院まで運びましたが、サンガイジュナコラギ(ネパール語)「みんなで生きるために」したことから、御礼も受け取らず去って行きました。

自分の進路を考える際、この物語を思い出し、岩村医師のような生き方かしたいと医学部を志しました。しかし、長い浪人生活に疲れ、関西学院大学神学部に進学し再考することにしました。そして在学中に訪れたパングラデシュで、悲惨な医療環境に接し、再受験を決心しました。大学では、「何」に注目し「如何に」アプローチすべきなのか、じっくり考えて行動に移す、それでこそ、技術も生きてくのだと学びました。30歳で医学部に入り、今回念願かなって、パングラデシュに戻ることが出来ました。

当国はインドの東にあり、1971年独立の若い国で、サイクロン・洪水の被災地・「最貧国の1つ」として知られていますが、昨今の経済成長ではNext 11として注目を浴びています。90%以上がイスラム教徒のベンガル人です。一方、勤務地は、チッタゴン丘陵地帯と呼ばれ、仏教徒の少数民族が多住

み、宗教的・政治的に複雑な地域であり、またマリアアが蔓延する医療過疎が激しい所でもあります。

ある日、仏教徒である少数民族の兄が連れて来た意識不明の弟は、「出家して身を捧げるので助けてほしい」と懇願する兄の気持ちもむなしく、3日目に亡くなってしまいました。早期発見治療が可能なら、奪われなくてもよい命はたくさんあるのです。

今回の病院プロジェクトでは、村に住む「お母さん」を保健ワーカーに育成し、村でマリアアの血液検査・投薬まで行えるように訓練しました。不平等な命の価値を少しでも取り戻したいからです。しかし医療現場では、貧困の問題を別問題として考えることはできず、辛い思いをすることも多いのです。

この聖書の箇所は、どのような困難な現場にあっても、少しの勇気を出して目をそむけず、今その事柄に関わっていくことこそ、「道の同じ側」を共に歩むことだと語っています。しかしイエスは背伸びする奉仕を私たちに強いているのではなく、逃げ出さず「出来ることを、出来るところで、出来る範囲で」行うことこそ大切なのだと語っているのだと思います。

勇気を出して同じ側を共に生きようとする時、神は、その私たちにも隣人を与え、自らも傍に立ち、その場から、押し出してくれる、だからこそ、間の中でも「何処へ」向かうべきかを示すわずかな光を見つけ出し、それに向かって歩んでゆけるのだと思います。それは一人ではないからです。



The Salt of the Earth, The Light of the World

シリーズ・私の教会 file 65

The United Church of Christ in Japan Fujimiigaoka Church

日本基督教団 富士見丘教会

多々内 三恵子

幼稚園教諭



私が富士見丘教会にご縁をいただいたのは、青山学院幼稚園に勤務する時でした。当時、宗教主任をしていらした東方敬信先生とおして、先生のお父様である、東方信吉牧師に導きをいただき、当教会で受洗いたしました。

私の所属する富士見丘教会のご紹介をさせていただきます。

主要聖句 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。*雲の火を消してはなりません。」(テサロニケの信徒への手紙一 5章16-19節)

富士見丘教会は東京都世田谷区で約70年の歴史をもつプロテスタント教会です。1935年、開拓伝道に熱心に取り組んでいた伝道者並びに信徒達により、当時未だ開発途上にあつた下北沢の地に発足しました。富士見丘という教会の名称は、文字通り当時そこから富士山を見ることができたことから付けられています。70年の歴史を持つ教会堂は国登録文化財(建築)に指定されています。世田谷区では3件目となる登録となっています。教会員59名の小さな教会ですが秋葉牧師は「少人数なのでお互いの顔が見え、神の家族としての自覚、兄弟姉妹として主にある交わりを持ちや

すいのではないかとおっしゃっています。

秋葉牧師は、教会の主任牧師として2006年に就任されました。秋葉恭子牧師が、そもそも牧師になられたのは「福音の伝道」だけでなく、み言葉に仕えたい、聖書を深く読みたいという思いからだったそうです。その熱い思いは、毎週語られる説教の中に感じとることが出来ます。その一方、ご趣味で茶道を最近習い始められたとか。きっかけは、ある教会員の方からの手ほどきともう一つは、東方先生の著書「文明の衝突とキリスト教」でカトリックのミサの所作とお茶のお手前を比較なさっている点に興味を持った

からだそうです。このように心を静める時もお持ちになるため、秋葉牧師の口を通して語られるみ言葉が、さらに力強く私たちの心に響くのだと感じます。

〈礼拝〉 毎週日曜日 午前10:30~11:30

〈集会〉 日曜礼拝以外にも、各種の集会を開いています。

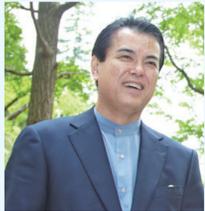
聖研祈祷会 毎週水曜日(Ⅰ)10:30~(Ⅱ)19:30~ 聖書を平易にかつ、深く学び、ともに祈りを準備する会です。

受洗準備会 洗礼を受けることを考えておられる方々のために、各自のご都合に合わせて個別に「使徒信条」の学びをしています。洗礼を受けるには、少なくとも1ヶ月前からの準備が必要です。時間は夜間でもかまいません。牧師までご相談ください。



〒155-0032 東京都世田谷区代沢2-32-2 交通 ●小田急線・京王井の頭線「下北沢」駅より徒歩約7分 ●京王井の頭線「池ノ上」駅より徒歩約5分

海外キリスト教事情



オバマ大統領のキリスト教

西谷 幸介

大学宗教主任

今般再選されたアメリカのオバマ大統領のキリスト教信仰についてお伝えし、それと彼の政策との関わりについても述べ、今後4年間のアメリカの方向性を予見してみたい。

オバマ氏とキリスト教との関わりが注目されるようになったのは、2007年4月、大統領選のキャンペーン中、ある記者の質問に答えて、20世紀アメリカの指導的神学者ラインホルド・ニーバーにたいする彼の深い理解と敬意を表明したことがきっかけであろう。ニーバーは人間の罪深さをえくり出し、従ってキリスト教徒はその社会的証しにおいて現実主義的であるべきだが、同時に神の国への理想を失うべきでない、説いたキリスト教神学者であった。

記者の突然の質問にも、ニーバー神学の要点を淀みなく答えてみせた点で(詳しくは『福音と世界』2011年10月号の拙論を参照されたい)、ニーバーへの真摯なコミットが感じられ、彼の信仰内容を理解するにはそれで十分と思われたが、父親がケニア出身の黒人イスラム教徒であり(そこでミドルネームはフセインとなった)、幼年時代、白人の母親のインドネシア人と再婚でハワイから一時インドネシアに住み、イスラム学校に通い、モスクにも出入りしたことで、オバマはムスリムではないかとの疑念も出された(このことはむしろアメリカのイスラム教徒たちからの集票につながっているのだから)。ちなみに実父は実質は無神論者、継父も形だけのムスリム、母親は既存宗派を嫌ったが自前の霊的求道者であった。こうした背景からその信仰について色々取

り沙汰されるオバマ氏だが、自覚をもったプロテスタントキリスト教徒であることは、彼がシカゴでコミュニティ振興事業管理者として成功を取った青年時代、そのコミュニティへの熱い関与と彼個人のキリスト信仰とが相俟って「トリニティ・ユニテッド・チャーチ・オブ・クライスト」のメンバーとなった事実によって、明白に示されている。2006年出版の彼の主著の「大胆な希望」というタイトルは、この教会の黒人牧師・ライトの力強い説教の題をそのまま継承したものである。その後のライトの過激な発言で、政治的には彼と袂を分かつたものの、このライトの恩恵、「黒人の解放の神学」者J・コーン、そして彼に影響を与えたM・L・キング牧師やニーバーと、その思想系譜を辿れば、差別された黒人や貧しい有色人種のため——例えばオバマケアすなわち国民皆医療保険政策など——オバマ氏の民主党的政策の本気度もよく理解されよう。中絶や同性婚の支持は彼のリベラル・プロテスタントイズムから来るものである。

マイケル・サンデルはハーヴァードの先輩政治学教授ジョン・ロールズを批判して有名になったが、若きロールズはニーバーアンであったことが伝えられている。そして、彼の「フェアネスとしての正義」の政治哲学こそ、貧困弱者層への富の再分配と強力な社会的セーフティネットの必要を訴えるものであり、その影響はオバマ氏にも色濃い。

以上を総合して考えれば、内政の面では、国民の数パーセントが総所得の大半を占めるというアメリカの現状を、中間および底辺層への富のフェアな分配へと移行させるという政策が志向されることになるのであろう。そして、それはアメリカ自体にとっても望ましいことではなからうか。

揺れ動く季節に



ストレスとつきあう

藤掛 明

聖学院大学准教授・臨床心理士

皆さんはストレスとどのようにつきあっているでしょうか。

まずストレスの理解として、ストレスはあってもよいものだという事を申し上げたいと思います。ストレスがあるのが問題ではなく、それにいかに対処するのかが問題なのです。これは大切な考え方で、私たちがは問題がなくなることを求めることがあちもありませんが、むしろそうではなく、あるのが当然で、問題にいかに対処できるかが大切なことなのです。もうひとつ、楽しいことでもストレスになるのだということです。これも大切な考え方です。

また心理カウンセラーをしていて気が付くのは、人にとって別れの体験というのがストレスに強く影響しているということです。死別が別れの最たるものですが、それ以外にもいろいろとあります。失恋する、転居する、病気をする(健康との別れ)、歳をとる(こども時代からの別れ)など、次々に別れを私たちは体験しているのです。特に人生や生活の節目では必ず別れが多層的に起こります。進学や就職、新学期などの節目ではとくに注意したいものです。

それでは、どのようにストレスに対処していけばよいでしょうか。

最大のポイントは、自己洞察によらないで、自分を管理、点検していくことです。なぜなら、頑張る人ほど自分のストレス状況がわからないからです。

点検の第一は、日頃から自分が息切れ

をしたときのサイン(SOSサイン)を自覚しておくことです。腰痛、寝不足、夜更かし、ドタキャン、悲観的気分など、個人ごとにいろいろなるサインがあります。こうしたサインが出てきたら理屈抜きで、自分が息切れしていることを認め、生活にブレーキをかけるようにすることです。

点検の第二は、身近な人との交流の中で、今の自分のコンディションを理解することです。「最近、疲れているね」と友人に言われて初めて気がつくようなことがあります。また語り合うこと自体に、気持ちを落ち着かせ、新しい視点を獲得する効力があります。ただし、その場合、十分に聞き合うことが大切で、助言や解決を急いでは、ここでいう「語り合い」にはなりません。

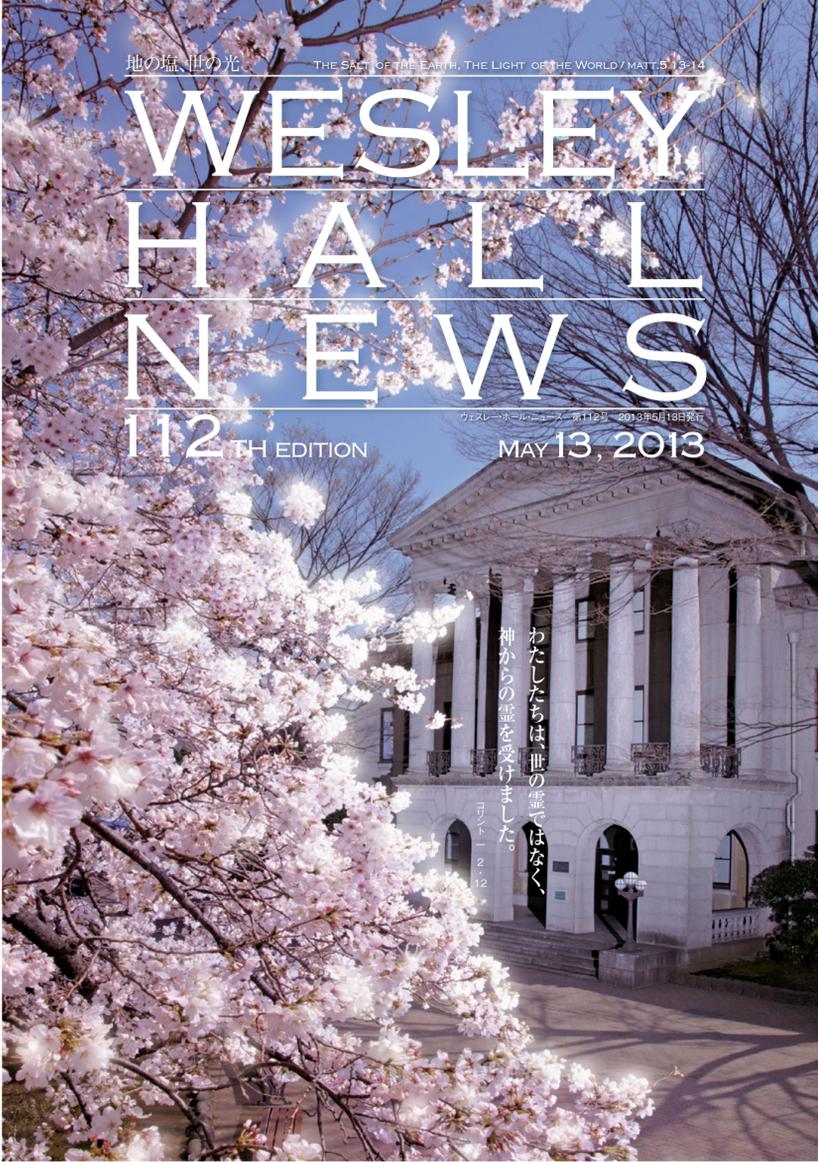
さて、最後に、メンタルヘルスの極意について述べます。

それは、自分をなるべく客観的に眺め、自分の無力さや弱さをきちんと受け入れることです。時として私たちは、自分の思考と努力で人生を仕切ろうとしますが、それは無理な話です。むしろ自分の思考の限界を謙虚に認めることが肝心です。そして、人生から(運命や神さまから)何を求められているかを自分に問う姿勢を温めていきたいと思うのです。聖書で、パウロは自分の弱さを誇る(1コリント12章9節)と言っていますが、まさにそのような謙虚な姿勢こそが本当の強さなのだと思います。

地の塩、世の光 THE SALT OF THE EARTH, THE LIGHT OF THE WORLD / MATTHEW 5:13-14

WESLEY HALL NEWS

112TH EDITION MAY 13, 2013



わたしたちは、世の光ではなく、神からの光を受けました。

CHRISTIANBOOKS & CDs

シリーズ・キリスト教関連メディア紹介

家庭で親しみキリスト教図書

森田 久美子

中等部司書教諭



「家庭でキリスト教に親しむには、どんな本を読んだらいいですか?」時々保護者の方に訊かれます。今回Wesley Hall News!に書く機会をいただきましたので、親子でキリスト教を話題にするきっかけとなるような本を発達段階別に数点紹介したいと思います。

『旧約聖書物語』(協田晶子・女子パウロ会)



総ルビ(ふりがなつき)な上に挿画入り・平易な文体で書かれているので、小学校高学年児童から読めます。同著者・挿画家による『新約聖書物語』も同年(2002年)に刊行。物語のかたちを探ることで、より親しみやすい内容になっています。

『わたしの好きなみごとば』(日本聖書協会編刊)

「感謝のとき」ほか4カテゴリに



大別し、聖句・典拠・選者名・選者による簡潔なコメントが掲載されています。シンプルであっても奥の深い言葉の数々をめぐり、会話のきっかけも自然に生まれるのではないのでしょうか。横山匡氏の写真と聖句のバランスも絶妙で、写真集としても楽しめます。

『マザー・テレサ語る』(ルンダ・ヴァーディ編・早川書房)



日曜日になかなか教会へ足を運べない多忙な中学生にとっても、マザー・テレサは身近な存在なようです。マザー・テレサの言動と、人となりを著した書籍は数多く出版されていますが、本書は丹念な取材ぶりが窺われる1冊。彼女の活動を支援する修道女・修道士だけの(家)関係の児童書に限らず紹介されていますが、参考になさってみてください。

長崎や京都での殉教のようすは多くの書簡や文献に残されていますが、米沢で53人もの人びとが殉教を遂げたことはあまり知られていません。1629年1月12日(寛永5年12月18日)にスポットを当て、イエスの教えに従い「自らの信仰と心の自由を殉教によって勝ち取った」53人の生きざまが、確かなデザイン力に支えられた絵と英文対訳付きの文でつづられています。絵本の体裁をとってはいますが、内容をしっかりと読み取ってほしいので中学・高校生にお薦めします。

このほか「教文館子どもの本のみせナリニア国」編集により、紹介文つきリストが毎年刊行されています。『2012年に出た子どもの本』は3月に刊行(1260円)。キリスト教関係の児童書に限らず紹介されていますが、参考になさってみてください。

方がたからの言葉も取められています。

『サムライたちの殉教: 米沢1629.1.12』(簡井義之文・神保亮絵・ハンスコ社)



長崎や京都での殉教のようすは多くの書簡や文献に残されていますが、米沢で53人もの人びとが殉教を遂げたことはあまり知られていません。1629年1月12日(寛永5年12月18日)にスポットを当て、イエスの教えに従い「自らの信仰と心の自由を殉教によって勝ち取った」53人の生きざまが、確かなデザイン力に支えられた絵と英文対訳付きの文でつづられています。絵本の体裁をとってはいますが、内容をしっかりと読み取ってほしいので中学・高校生にお薦めします。

このほか「教文館子どもの本のみせナリニア国」編集により、紹介文つきリストが毎年刊行されています。『2012年に出た子どもの本』は3月に刊行(1260円)。キリスト教関係の児童書に限らず紹介されていますが、参考になさってみてください。

Wesley Hall News 第112号 2013年5月13日発行 発行 青山学院宗教センター 学院宗教部長 嶋田 順好 東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03-3409-6537(ダイヤルイン) (URL)http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html (E-mail)agcac@aoyamagakuin.jp 編集 ウェスレーホールニュース編集委員会 印刷 株式会社 万全社

(大学文学部教授 青木 敦)

説教

聖霊の贈り物

使徒言行録 第2章1〜4節

不思議な出来事

ペンテコステについて書かれた聖書箇所(使徒言行録2:1〜4)を初めて読まれた方は、この出来事が歴史的事実というよりも、ファンタジーのように感じられるかもしれません。「突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。」(使徒言行録2:2、3)と記され、読み進めますと、それぞれが声を出して他国の言語で語りだしたとあります。現実には、イメージにない光景ですが、これらは歴史的な事実として、当時、この日に何が起こったのかを後々に伝えるために敢えて記されたものなのです。

専門用語ペンテコステとは

ペンテコステは単に「50番目」という意味です。過ぎ越しの祭りから数えて、50番目の日であると、敢えて特記してあります。過ぎ越しの祭りでは、神によるユダヤ民族に対する特

シエロマイク

学院宣教師

別な計らいに感謝し、特別な食事を用意して、お祝いをするのが伝統です。また、多くの人々がエルサレムに巡礼に向かいます。そして、ユダヤ人の習慣として、過ぎ越しの祭りの50日後に同じ宴を持つのです。ここに、なぜイエスが敢えてこの日に聖霊を弟子たちに注ぐことを選んだかを見ることが出来ます。その日には、エルサレムには多くの巡礼者が集っていました。その上、ペンテコステには収穫を祝う馳走が整えられる習わしがあります。人々が寄り集まって、作物の収穫を祝いますが、目に見える作物の収穫だけではなく、霊的な収穫の意味が重ねられていることが分ります。

聖霊の働き

ペンテコステによってイエスが私たちが、慰め、導き、教え、知恵を与え、力づける聖霊を送ってくださったとの約束と共に、このようなイースターの奇跡の後で、弟子たちを通して大きな働きが広がり始めていくことになるのです。ペンテコステの日に、神の霊が大胆に放たれた経緯が記録されています。同時に、この歴史的事実を通して、一度限りの出来事ではなかったことを、歴史上の随所に見ることが出来ます。この聖霊の働きを「リバイバル」と言い、霊的覚醒運動、または、宗教改革運動として知られています。

特に、16世紀の宗教改革は、キリスト教における歴史的変

革の役割を担いました。青山学院においても、18世紀メソジストのリバイバル派の代表であるジョン・ウェスレーの影響を、直に受けた経緯があります。アメリカは18世紀、19世紀に亘って、国民規模での霊的覚醒を経験しました。同時に、北アイルランドのリバイバル運動では、わずか一年で10万人の改宗者を生み出し、教会へ湧きました。現在、中国においては、イギリス、オーストラリアを合わせた数を凌ぐキリスト教人口が報告されています。中国をはじめとする国々において、急速に教会が成長し、奇跡や癒しといった、この使徒言行録に記されているのと同じような事柄が起こっているという報告も聞かれています。このような出来事は、ほんの一例にすぎませんが、ペンテコステという日を境に、神の霊が世界中に溢れ、流れ出したのです。

聖霊によって変えられる

イエスが捕えられた瞬間、弟子たちはさっさと逃げ出しました。恐れていたのです。イエスが十字架にかかれた時には、身を潜めて隠れていたほです。しかしながら、ペンテコステ以降、彼らは恐れ知らずの伝道者へと変えられました。身の危険に晒されながらも、伝道に励み、事実、殉教の死を遂げるに至ったのです。しかし、その時にはすでにイエス・キリストにまつわる、あらゆる出来事の経緯とメッセージが、ローマ帝国中に



これから共に歩いて下さる

ペンテコステは、神が、私たちの置かれたその現状の中に直接働かれ、心の中を大きく揺さぶられる方であるということを示しています。聖霊は、人と人とのわかりや怒りや、健やかな方向へと促し、励ましへと導く力を与えて下さいます。一方的ではなく、相互理解を与え、自分と距離のある人との隙間を埋めて下さいます。2000年前の、一度限りの出来事には留まってはなりません。それは、今、現在もペンテコステだからです。何を語るべきかを、聖霊御自身が教えて下さり、人と人との架け橋になり、これからの一歩一歩を導いて下さいます。そして、その将来のために、内なる準備を始めて下さるのです。

特集 ようこそ青山学院へ

Special Issue : Welcome to Aoyama Gakuin

新入生の皆さん、青山学院での生活はいかがですか。各部の方に、新しい仲間に向けた言葉を頂きました。



丸山 奈那子 幼稚園教諭

昨年、秋、年少組のお部屋から見える裏庭の花壇に子どもたちと一緒にチューリップの球根を植えました。子どもたちは毎朝水をあげ、花が咲く日を楽しんでいました。そして年中組・年長組に進級した子どもたちは、新しくばら組・ちゅうりっぷ組になる子どもたちに会える日を、楽しみにしておりました。ご入園なさいました子どもたちと保護者の皆様、ようこそ青山学院幼稚園へ。

幼稚園の生活では子ども一人ひとりがやりたし遊びにじっくり取り組み、夢中になることを大切にしています。園庭では木登りや泥遊び、ままごと、ブランコや滑り台で遊ぶ子どもたちがいっぱい。ホールでは、大きな積み木を使って思い思いのこつ遊びが広がっています。春には校の花びらの織毯が子どもたちを包み、夏が近づくと気持ちよさそうに全身で冷たい水遊び、秋には実のなる木の収穫を喜び、冬には風の寒さを防ぐ白さなどに気づき、元気に外で遊ぶ子どもたち。幼稚園の遊びの中で神様から与えられた自然の恵みを肌で感じながら、子どもたちと共に過ごすことを楽しみにしています。

また、幼稚園にはたくさん動物たちがいます。表庭ではうさぎの「そらちゃん」や「べんちゃん」、まがもの「かつこ」が毎日子どもたちを迎えてくれます。裏庭では、チャボが入園したばかりの子どもたちを楽しみに待っていることばう。小さな池にはおたまじゃくしが泳ぎ、蛙になるまでの成長を見ることが出来ます。聖書には「子供たちを来させなさい。わたしのこころに来るのを妨げはならない。天の国はこのような者たちのものである。」(マタイによる福音書19章14節)と書かれています。子どもたちは毎日のおひりや讃美歌、礼拝を通して神様、イエス様と出会います。神様の子どもとして心も身体も大きく成長し、幼児期の3年間が子どもたちにとって保護者のみなさんにとっても豊かで幸せな時であるようにと願っています。

出あえてうれしいな



いしはら ひろむ 初等部2年

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ほくたち2年生は、1年生に出あえてとてもうれしくおっています。しようぶに入って、なにわからなくてときどきしているかもしれないけれど、大じょうぶですよ。しようぶには、ほくたち2年生と、6年生のパートナーや上きゅう生がいっぱいいることをおしえるために

いますから、あんしんして下さい。ほくも、1年生のはじめに2年生のパートナーさんと、学校あんないをしてもらいました。れいはいどうや、プールのぼよをおしえてもらって、あんしんしました。6年生のパートナーさんは、たよになるおにいさん、おねえさんです。

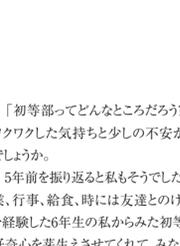
しようぶの花はかきつは、まいあさ、れいはいからはじまります。おひのりすること、心の中で神さまに出あえます。神さまのめぐみをかかんで、一日の生かつをはじめることができます。

じゅぎょうはとてもたのしいです。先生がたが、くわしくおしえて下さいます。ほくは、入学したときには、字がそんなにはかかなかつたけれど、少しずつなつて、まい日、日つきがかるようになります。そして、休みかんは、ペンペン森やにしいるひろばであそべます。校いでではしるのも、とってめ気がちがいです。

たのしいきょうじたくさんあります。7月のなかよしキャンプでは、クラスいっぺいのお友だちともあそべます。ほくもお友だちがくさんできました。

1年生のみなさん、わからないことがあったら、なんでもきいて下さい。ほくたちは、1年生がたのしい生かつをおくれるように、いつもおひのりしています。

神様と共に



瀧波 由璃 初等部6年

「初等部ってどんなところだろう?」今、みなさんはワクワクした気持ちと少しの不安があるのではないのでしょうか。

5年前を振り返ると私もそうでした。毎日の礼拝、授業、行事、給食、時には友達とのけんかや失敗などを経験した6年生の私から見た初等部は、たさんの好奇心を芽生えさせてくれて、みんなが持っている宝物を存分に引き出して輝かせてくれるところです。嬉しいことがあると先生も友達も一緒に喜んでくれます。辛いことや苦しいことがあっても皆で支えてくれて一歩前に導いてくれます。そして、どんなときも神様が共にいて下さることを実感できます。当たり前だと思っていたことは、本当は特別なことで、自分が生かされる多くの恵みに支えられて守られていることに気づくことができます。ちょっと難しいかもしれませんが、たさんの体験がすばらしい経験として積み重なっていくところが初等部です。

これからの礼拝や授業の中で度々「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたも人々にしなさい」という聖句を耳にすることがあります。私がいままでできていないかという恥ずかしながらうで、あきらめを耳にすると、その聖句がいとも頭の片隅には残っていて初等部5つのお約束を実行して、今まで自分が与えられたものを皆さんにお返しいてくれたらいいなと思います。

だから1年生の皆さんは、困った時は先生や私たちをたくさん頼って下さい。そしてこれからの6年間の初等部生活の一日一日を大切に過ごして下さいね。

賜物を生かす



上野 亮 中等部教諭

「あなたがたはそれぞれ賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」(ペトロの手紙一 4:10)

青山学院に入学して2か月、皆さんは日々の生活の中で何か熱中できるものを見つけたことができたでしょうか。中等部から始まるこれからの10年間は、皆さんの一生の中で非常に大切な時間となることでしょう。そこでは友だちとの出会い、自分との出会い、社会との出会いなど、さまざまな出会いが皆さんを待っています。

友だちとの出会い、青山学院には本当にいろいろな賜物(タレント=才能)を持った仲間たちが集まっています。ある人は勉強に、またある人はスポーツ、芸術分野に、趣味の世界にと、それぞれ将来社会の第一線で活躍するであろう仲間たちがみなさんのすぐそばにたくさんいます。そしてそのすぐれた才能同士が青山学院で出会い、刺激し合い、さらなる輝きを持つよう互いに力をかき合おうです。どうかこのような恵まれた環境の中で、皆さんの持っている賜物をみかいて伸ばしていきましょう。

初等部入学から高等部2年生までの11年間、僕は青山学院で数えきれないほどの楽しい経験をしてきた。その裏にはこれまでに数えきれない経験があった。そんな時の礼拝で先生は、「君たちに起こる苦しいこと辛いことはすべて神様の二計画のうちなのです。神様に感謝しましょう。」とおっしゃった。それを聞いたとき、まだキリスト教にかなりの抵抗があった僕は神様を拒否した。これが計画なら神様は神様じゃない人だと思った。しかしそれから10年近くが過ぎた今、あの当時のことを思い出そうとすると不思議と仲間との楽しい思い出が蘇る。学年全員で行ったキャンプでの出来事であったり、休み時間に流行った遊び…たしかに辛い思い出もしたが、自暴自棄になつてたこともあった。でもそういふとき、常に仲間がいてそれが支えになって何度かでも立ち上がっていたのだと気づいた。もし神様の二計画があったのなら、あのときの辛い出来事は今の楽しい思い出の道標だったのかもしれない。

新年度を迎え、境遇は違えども横には仲間がいるであろう。たとえまだよく知らなくとも、横にいる人が神様の二計画によっては自分の人生を変えてくれる恩人になるかもしれない。運命とも呼べる皆さんの青山学院での生活が充実したすばらしいものとなるよう祈っています。

神様のご計画



久保 直生 高等部3年

人が生涯、雷に撃たれる経験をする確率は1000万分の1。こんな経験は、日常からかけ離れていて、考えてみたこともない。では、毎日一緒に勉強している仲間のことを考えてみてほしい。それぞれクラスへの思いをもっているであろう。先生は言う、このクラスにこのメンバーが集まったのは運命である。その運命をパソコンで計算してみた。日本にいる同い年の人数が150万人。そのなかから選ばれた40人。小さすぎるその確率に僕のパソコンは計算できないと答えた。雷に撃たれる経験よりずっとずっと経験することのない40人のクラス。そう聞くとあたりまえの毎日が少し引き締まった気がするのではないだろうか。

初等部入学から高等部2年生までの11年間、僕は青山学院で数えきれないほどの楽しい経験をしてきた。その裏にはこれまでに数えきれない経験があった。そんな時の礼拝で先生は、「君たちに起こる苦しいこと辛いことはすべて神様の二計画のうちなのです。神様に感謝しましょう。」とおっしゃった。それを聞いたとき、まだキリスト教にかなりの抵抗があった僕は神様を拒否した。これが計画なら神様は神様じゃない人だと思った。しかしそれから10年近くが過ぎた今、あの当時のことを思い出そうとすると不思議と仲間との楽しい思い出が蘇る。学年全員で行ったキャンプでの出来事であったり、休み時間に流行った遊び…たしかに辛い思い出もしたが、自暴自棄になつてたこともあった。でもそういふとき、常に仲間がいてそれが支えになって何度かでも立ち上がっていたのだと気づいた。もし神様の二計画があったのなら、あのときの辛い出来事は今の楽しい思い出の道標だったのかもしれない。

新年度を迎え、境遇は違えども横には仲間がいるであろう。たとえまだよく知らなくとも、横にいる人が神様の二計画によっては自分の人生を変えてくれる恩人になるかもしれない。運命とも呼べる皆さんの青山学院での生活が充実したすばらしいものとなるよう祈っています。

女子短期大学で得られる恵み



河見 誠 女子短期大学副学長 現代教養学科教授

新入生の皆さん、ようこそ青山学院女子短期大学へ!この学び舎に入学したからこそ得られるものは数多くあります。大に期待して下さい。皆さんが履修する、昨年度から新設された「現代教養コア科目」もその一つでしょう。これは、「女性と現代」「共生」「表現」の三つの科目群で構成されています。それぞれ「自分を知る」「共に生きる」「発信しコミュニケーションすること」を目的としたユニークな科目群ですが、実は、このカリキュラムは青山学院教育方針の「神の前に真実に生き 真理を謙虚に追及し 愛と奉仕の精神をもって…」によく対応していることに気づいたのでしょうか。

知識のスタートは十字架があることから、大事なことか。無知は神と人を十字架につけます。イエスは十字架の上で人々について「自分が何をしているのか知らないのです」と述べました(ルカ23:34)。イエスと十字架をみるときに、自分が何者で何をしているかを知ることの重要性がわかります。神の前に謙虚になり自らを見つめることが知識のはじめなのです。

十字架の上のイエスは人びとを救うだけでなく「父よ、彼らをお救いください」と祈ります。そして復活のち弟子たちから再び離れていくとき、弟子たちを「行きなさい」と押し出し、他の人たちに「奉仕し」、メッセージを伝えることを命じます。さらに「わたしは世の終わりでまで、いつもあなたがたと共にいる」という約束の言葉を残して弟子たちを励ますのです(マタイ28:20)。救いから始まり外へ外へと向かう生き方こそが「共生」を生むものであり、これが聖書の「愛と奉仕に生きること」でしょう。

イエスは弟子たちを伝道に派遣するときに「何ももつていかず下着一枚だけ」と命じます。発信しコミュニケーションするためには、技術やツールも必要ですが、重要なことはその中身なのです。中身を鍛えるための「表現」の学びでなければなりません。

この学び舎で得られる恵み。それは日常の学びを通して、謙虚さ、愛と奉仕の精神を豊かに身につけられることです。時代の見通しが不透明な中、本當の生きる力をつけることを求めて、共に歩んで参りましょう。

感謝して歩む



板垣 杏奈 大学社会情報学部4年

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新しい生活はいかがでしょうか。高校とは違うスタイルの授業、広いキャンパス、また、キリスト教主義の大学に入学し、戸惑いの気持ちがある方も多いのではないのでしょうか。少し、私の話をしたいと思います。私の家族はキリスト教ではありません。私は受験に失敗して入学した中学が、青山学院と同じように、キリスト教精神に基づく学校でした。当時の私は、「神様なんているわけない!」と考え、聖書の授業で課された感想文には、批判を書くものでした。しかし、私はキリスト教になりました。「この人は学校に洗脳されたのでは?」と思う方もいるかもしれませんが、そうではなく、神様の愛に気づいたのです。話が長くなるので、ここに書くことはできませんが、私は、日々の生活の中で多くの聖書の言葉に心を動かされたのです。そして、私はキリスト者推薦枠でこの大学に入学が許されました。自分かキリスト者となり、今こうして青山学院にいるなんて、考えてもみなかったことです。神様の計画はわかりません!私がキリスト者となる転機となった聖書の言葉のひとつを皆様にお伝えしたいと思います。これは、私がいままで大切にしている言葉です。「いつも喜んでいなさい。飽えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそキリストイエスにおいて、神があなたに望んでおられることです。」(テサロニケの信徒への手紙一 5:16-18)

新しく始まった大学生活、皆さんには、新たな経験や出会いが多くあることでしょう。それらは決して楽しいことばかりではないと思います。困難にぶつかることも多くあると思います。しかし、今、私たちが大学生活を送ることができているのは、私たちが知らないところで神様が働いておられるからです。神様がこの世界や私たちを創造されたからです。神様に与えられた大学生活、どのようなことにも感謝して歩んでほしいと思います。皆さんの大学生活が、神様の祝福に満ちあふれますように。

高等部より

特別礼拝 5/29 10:15 PS講堂

伝道週間 6/10-14 全 PS講堂

グリーンキャンプ 7/23-25 高等部区分

秋の伝道週間 10/21-25 全 PS講堂

創立記念礼拝 11/18 10:15 PS講堂

保護者聖書の集い 具体的な日時は「高等部便り」でお知らせ致します。

(宗教主任 相良 昌彦)

女子短大より

チャペル・ウィーク 5/13, 15, 17 全 各日12:35-13:20 女子短期大学礼拝堂

ペンテコステ礼拝 5/20 12:35-13:05 女子短期大学礼拝堂

第5回 東日本大震災被災地支援ボランティア 夏期休業期間中(明日不定)

オータム・リトリート 9月予定 詳細未定

創立記念礼拝 11/15 12:35-13:05 女子短期大学礼拝堂

(女子短期大学宗教活動センター)

大学より

チャペル・ウィーク(前期) 5/27-31 全 青山・相模原 各界で活躍しているキリスト教の方々に礼拝でお話を伺っていただきます。

ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝 5/24 10:30 全 青山・相模原

ペンテコステ礼拝 5/20 全 青山・相模原

5/21 火 第二部

清里サマー・カレッジ 8/5-7 水

チャペル・ウィーク(後期) 10/21-25 全 青山・相模原 各界で活躍しているキリスト教の方々に礼拝でお話を伺っていただきます。

(宗教センター事務局 平野 修一)

本部より

学院創立139周年記念礼拝 11/15 全 ガチャチャー記念礼拝堂

Art クリスマス Aoyama 11/26-12/18 短大 短大 キャンパス

クリスマス・ツリー点火祭 11/29 全 相模原 全学院の礼拝で行います。どうぞ出席ください。

(宗教センター事務局 平野 修一)